



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月7日

上場会社名 株式会社オールアバウト 上場取引所 東
 コード番号 2454 URL <http://corp.allabout.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江幡 哲也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CAO (氏名) 森田 恭弘 TEL 03-6362-1300
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月8日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	3,587	8.3	44	△81.3	36	△84.7	109	△51.3
30年3月期第1四半期	3,312	48.9	239	931.4	240	-	225	129.9

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 113百万円 (△50.0%) 30年3月期第1四半期 227百万円 (182.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	8.41	8.13
30年3月期第1四半期	16.70	16.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	5,297	3,958	68.3	276.75
30年3月期	5,554	3,909	64.4	273.35

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 3,620百万円 30年3月期 3,576百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	-	0.00	-	5.00	5.00
31年3月期	-	-	-	-	-
31年3月期(予想)	-	0.00	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	7,600	15.8	220	△31.6	200	△37.8	200	△19.1	15.29
通期	15,800	13.3	700	4.8	670	1.6	500	53.2	38.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	13,533,700株	30年3月期	13,533,700株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	451,198株	30年3月期	451,158株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	13,082,509株	30年3月期1Q	13,520,051株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費の回復は足踏み状態が続いております。また、海外の政治・経済動向などの懸念材料もあり、依然として先行き不透明な状態で推移しております。

このような環境下で当社グループは、「メディア広告&ソリューション」「トライアルマーケティング&EC」「生涯学習」「グローバル」「C to C」「ウェルネス」「クラウドソーシング」「デジタルコンテンツ」といった8つの領域を中期的な注力領域とし、それぞれの領域に対しWEBとリアルの両面から最適なソリューション及びサービスを提供すべく、グループ経営を推進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,587百万円（前年同四半期比8.3%増）、営業利益は44百万円（前年同四半期比81.3%減）、経常利益は36百万円（前年同四半期比84.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は109百万円（前年同四半期比51.3%減）となりました。

報告セグメントの状況は以下のとおりであります。

(マーケティングソリューションセグメント)

マーケティングソリューションセグメントにおきましては、当連結会計年度において、オンラインゲーム事業を営むファイブスターズゲーム株式会社の全株式を売却した事により連結の範囲から除外しており、売上の減少要因となりました。利益面につきましては、利益率の高いプログラマティック広告売上の減少や、人件費の増加が影響しました。

以上の結果、マーケティングソリューションセグメントの売上高は828百万円（前年同四半期比2.7%減）、セグメント利益は80百万円（前年同四半期比52.8%減）となりました。

(コンシューマサービスセグメント)

コンシューマサービスセグメントにおきましては、「サンプル百貨店」におけるサンプル商品の拡充と会員数の増加に注力し、主力の有償サンプリングサービス「ちょっプル」は引き続き堅調に推移しております。また、前第2四半期連結会計期間より損益を取り込んでおりますファッションECサイト「MUSE&CO.」の売上貢献もあり、売上高は堅調に推移しました。

一方で、物流費の上昇や、マーケティングコストの増加、また、投資フェーズにある「MUSE&CO.」において発生している損失計上の影響がありました。

以上の結果、コンシューマサービスセグメントの売上高は2,758百万円（前年同四半期比12.1%増）、セグメント利益は83百万円（前年同四半期比44.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は4,204百万円となり、前連結会計年度末に比べ344百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品が110百万円増加した一方、現金及び預金が161百万円、受取手形及び売掛金が271百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は1,092百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が23百万円、繰延税金資産が53百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,266百万円となり、前連結会計年度末に比べ287百万円減少いたしました。これは主に未払費用が133百万円、未払法人税等が175百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は72百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円減少いたしました。これは主に長期借入金金が16百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,958百万円となり、前連結会計年度末に比べ48百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を109百万円計上したこと及び65百万円の配当実施により、利益剰余金が44百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月10日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,550,966	2,389,941
受取手形及び売掛金	1,549,483	1,278,014
商品及び製品	328,339	438,497
未成制作費	3,992	2,324
前払費用	44,196	45,244
その他	77,510	61,249
貸倒引当金	△5,355	△10,395
流動資産合計	4,549,133	4,204,877
固定資産		
有形固定資産		
建物	139,927	138,184
減価償却累計額	△62,378	△63,907
建物(純額)	77,548	74,276
工具、器具及び備品	169,213	167,925
減価償却累計額	△120,574	△122,265
工具、器具及び備品(純額)	48,638	45,660
有形固定資産合計	126,187	119,937
無形固定資産		
のれん	76,078	66,968
ソフトウェア	358,644	382,633
ソフトウェア仮勘定	39,228	41,640
その他	522	522
無形固定資産合計	474,474	491,764
投資その他の資産		
投資有価証券	56,625	80,155
関係会社株式	48,606	39,123
破産更生債権等	2,192	2,192
長期貸付金	4,000	24,000
差入保証金	169,823	178,742
繰延税金資産	100,440	153,554
その他	25,091	25,091
貸倒引当金	△2,072	△22,072
投資その他の資産合計	404,706	480,787
固定資産合計	1,005,368	1,092,488
資産合計	5,554,501	5,297,365

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	869,553	916,888
1年内返済予定の長期借入金	4,693	—
未払金	8,540	5,561
未払費用	320,126	186,170
未払法人税等	195,233	19,781
未払消費税等	64,884	27,140
前受金	13,332	9,534
預り金	38,812	67,334
賞与引当金	11,220	5,796
その他	27,362	27,837
流動負債合計	1,553,758	1,266,045
固定負債		
長期借入金	16,930	—
退職給付に係る負債	33,198	32,346
資産除去債務	38,100	38,100
その他	2,601	2,445
固定負債合計	90,830	72,891
負債合計	1,644,589	1,338,936
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,199,222	1,199,222
資本剰余金	2,198,537	2,198,537
利益剰余金	882,602	927,149
自己株式	△704,278	△704,335
株主資本合計	3,576,084	3,620,573
新株予約権	7,651	7,651
非支配株主持分	326,176	330,203
純資産合計	3,909,912	3,958,429
負債純資産合計	5,554,501	5,297,365

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	3,312,305	3,587,254
売上原価	1,549,403	1,819,978
売上総利益	1,762,902	1,767,276
販売費及び一般管理費	1,523,762	1,722,456
営業利益	239,139	44,819
営業外収益		
受取利息	81	185
受取配当金	500	500
為替差益	152	—
その他	790	851
営業外収益合計	1,524	1,537
営業外費用		
持分法による投資損失	—	9,482
その他	203	75
営業外費用合計	203	9,558
経常利益	240,460	36,798
特別利益		
固定資産売却益	1,000	—
関係会社株式売却益	13,530	37,463
新株予約権戻入益	35	—
特別利益合計	14,565	37,463
特別損失		
固定資産除却損	—	431
特別損失合計	—	431
税金等調整前四半期純利益	255,025	73,830
法人税、住民税及び事業税	3,236	13,443
法人税等調整額	23,923	△53,599
法人税等合計	27,160	△40,156
四半期純利益	227,865	113,986
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,040	4,027
親会社株主に帰属する四半期純利益	225,824	109,959

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	227,865	113,986
四半期包括利益	227,865	113,986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	225,824	109,959
非支配株主に係る四半期包括利益	2,040	4,027

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引に関する取扱い等の適用)

「従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引に関する取扱い」(実務対応報告第36号 平成30年1月12日)等を平成30年4月1日以後適用し、従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引については、「ストック・オプション等に関する会計基準」(企業会計基準第8号 平成17年12月27日)等に準拠した会計処理を行うことといたしました。

ただし、実務対応報告第36号の適用については、実務対応報告第36号第10項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、実務対応報告第36号の適用日より前に従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与した取引については、従来採用していた会計処理を継続しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	851,865	2,460,439	3,312,305	—	3,312,305
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,262	—	12,262	△12,262	—
計	864,128	2,460,439	3,324,568	△12,262	3,312,305
セグメント利益	170,483	149,547	320,031	△80,891	239,139

(注) 1. セグメント利益の調整額△80,891千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△80,891千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	828,610	2,758,644	3,587,254	—	3,587,254
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,454	—	15,454	△15,454	—
計	844,064	2,758,644	3,602,708	△15,454	3,587,254
セグメント利益	80,544	83,721	164,266	△119,446	44,819

(注) 1. セグメント利益の調整額△119,446千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△119,446千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため記載を省略しております。